

太陽光発電の売電収益を活用した、地域の農業復興支援

<概要>

- 事業実施主体：福島農民連産直農業協同組合
こおりやまし にほんまつし
(福島県郡山市、二本松市)
- 発電設備：太陽光発電
発電出力 260.1kW (郡山)、346.8kW (二本松)
発電電力量 73万kWh/年
- 建設費：約2.3億円
- 運転開始時期：平成26年6月(郡山)、同年7月(二本松)

<特徴>

- 組合員が所有している山林地において実施。
- 売電収益により、以下の取組を支援。
 - ① 新規就農者向けの共同利用トラクターを購入
 - ② 間伐し、空いたスペースを活用して葉わさびを栽培
 - ③ 間伐材をボイラー用、薪ストーブ用として農家等へ搬出
 - ④ 発電所の草刈りのため、農協の会員等の地域の住民を雇用
 - ⑤ 原発の風評被害克服に向けた消費者の視察受入、農産物の販売促進や交流会
 - ⑥ 耕作放棄地の解消として、放置されていたブドウ畑の棚を撤去
- 発電した電気は、東北電力と地球クラブ(生協)に供給。地球クラブの会員は電気も農産物も地元産を購入できる仕組み。



発電施設の外観(郡山)



発電施設の外観(二本松)



風評被害対策として消費者への報告会を実施
間伐材の搬出・輸送

※地域還元型再生可能エネルギーモデル早期確立事業(H24)において支援